

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



Graduation Ceremony でいただいたケーキ

プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 村田 若奈 (Murata Wakana)
所属 (School) 現代システム科学域 学域単位
学年 (Grade) 1年

留学先 (Name of overseas institution)
アメリカ・カリフォルニア大学アーバイン校
留学期間 (study abroad period)
3週間

記入日 (Date) 2017/10/10

留学レポート Study Abroad Report

<留学のきっかけ>

私は、以前から異文化交流に興味があったので、実際に異国の地で生活をし、異なる文化背景を持つ人々と理解しあいたいと思い、この留学のプログラムに参加することを決めました。料金は決して安いものではありませんでしたが、チャレンジ奨励金や後援会や親の援助を借り、留学することができ、素晴らしい経験をすることができました。異文化への理解を深めることと、英語力の向上を主な目標としてこの留学に臨みました。

<カリフォルニア大学アーバイン校>

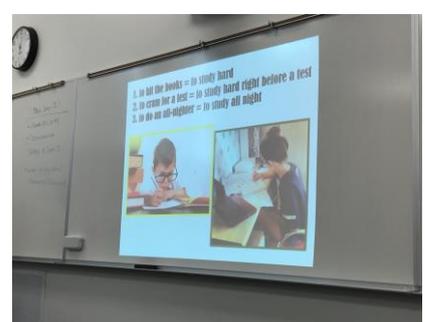
アメリカ滞在の3週間、私は現地の大学である University of California, Irvine (以下 UCI) へ月曜日～金曜日に通っていました。ホームステイ先から大学まではバスパス (\$ 69 で購入) を使用し、約 30 分かけてバスで通学していました。大学内はとにかく広く、昼食をとるための場所がたくさんあり、レストランの種類も豊富でした。初日にクラス分けテストが行われ、その結果に基づいたメンバー編成で授業が行われました。授業は、Speaking/Listening クラスと American Culture クラスを受け、良い先生方や新たな友人に恵まれ、とても有意義な時間を過ごすことができました。また、American Culture クラスでは、アメリカの歴史や文化、民族など日本の授業では決して学ぶことができないようなことをたくさん学ぶことができました。



UCI から見える景色



UCI の中央にある公園



授業スライドの一部

<CP Meeting>

毎週火曜日と木曜日には、UCI の生徒 (もしくは卒業生) が Conversational Partner となって、一緒に活動してくださいました。私たちはキャンパス内を紹介してもらっただけでなく、T シャツをつくったり、BBQ をしたり、プールに行ったり、バスケットをしたり、トランプで遊んだり、ボーリングやゲームセンターに行ったりしました。とても楽しくて濃厚な時間を過ごせたため、最終日に Conversational Partners とお別れするのがすごく寂しかったです。日本に帰ってからもメッセージのやりとりなどをして、関係を続けられていることがすごくうれしいです。



BBQ



プール



ボーリングセンター

<ホストファミリー>

私のホストファミリーの家族構成は、父、母、祖母、3人姉妹（1人は大学近くに住んでいるため不在）、猫2匹、カメ1匹でした。温かいホストファミリーが私を受け入れてくれて、とてもいい3週間を過ごせました。とてもきれいな部屋を用意してもらい、美味しい晩御飯をほぼ毎日つくってくれました。夕食後や寝る前にホストファミリーと喋ったり一緒にテレビを見たりして、アメリカについて教えてもらったり、アメリカと日本を比較したりして楽しかったし、一緒に過ごす時間のおかげで英語力も身に付きました。また、休日は教会に連れて行ってもらい、日本では経験できないキリスト教の文化を経験することができました。すごく居心地も良く、ホストファミリーの方々は私にすごく優しくしてくれて、「いつでも帰っておいで」「私たちのことを忘れないでね」「あなたと一緒に過ごすことができよかったです」など、すごく温かい言葉をかけてもらい、お別れの最終日には涙をこらえることができませんでした。



用意してもらった部屋



ホストマザーの手料理



ホストファミリーの猫

<最後に>

この3週間は私にとって本当に宝物で、自分自身を成長させることができた良いきっかけになったと思います。また、私はこの留学に行く前より行った後のほうが勉強意欲があり、このままで満足するわけにはいかないと以前より英語について熱心に勉強するようになりました。なので、留学したいが戸惑いを感じている方、学習意欲がある方、今後のモチベーションに繋がりたい方でこの留学を検討していらっしゃるなら、ぜひ背中を押したいと思います。

アメリカで出会った人々や素晴らしい経験をさせてくださった両親、大阪府立大学および関係者様に感謝をしてこのレポートを締めくくらせていただこうと思います。ありがとうございました。